

2019年11月実施
第12回
農業簿記検定[®]
2級問題

注意事項

トイレなど途中退出後の再入室は認めません。試験開始の合図の前までに済ませてください

- 1 試験監督員の指示があるまで、この問題冊子は開かないようにしてください。
- 2 試験中、下記の使用が認められたもの以外は、すべてカバン等にしまい、机の中又は、足元等指定された場所に置いてください。試験中、使用が認められるものは、次のとおりです。
 - ・筆記具（BまたはHBの黒鉛筆/シャープペンシル）・消しゴム・定規・ラインマーカー
 - ・電卓（基準に適合したものに限る。又は算盤）・時計（通信機能を有するものを除く）
- 3 スマートフォン等通信機器を使用することは認めません（時計の代わり又は電卓として使用も不可）。電源を切り、カバン等にしまってください。
- 4 試験監督員の指示に従わない場合、また、周囲に迷惑をかける等、適切な試験の実施に支障を来たす行為を行った場合には、不正受験とみなすことがあります。
- 5 上掲4の場合を含み、不正受験と認められた場合には、直ちに退室を命ずることがあります。
- 6 試験時間は、**2時間（120分）**です。試験開始の合図により、試験を始めてください。
- 7 この問題冊子には、**問題25問まで掲載**しており、**1頁から23頁まで印刷**しています。試験監督員の指示に従い、頁を調べ、印刷不鮮明や落丁等があれば、挙手をして申し出てください。
- 8 解答は、別途配布した解答用紙（マークシート）に記入（該当番号の塗りつぶし）してください。
- 9 問題の内容に関する質問には、一切応じません。
- 10 退室可能時間は、試験開始後30分後から試験終了10分前です。
 - ※退出を希望する場合は、必ず挙手をして、試験監督員が解答用紙を確認し回収するまでは、席を立たないでください。一旦退出後の再入室は、認めません。
- 11 試験終了の合図とともに、直ちに、筆記具を置き、解答用紙を裏返してください。
- 12 試験監督員が解答用紙を回収し、受験番号や氏名等の記載内容を確認した後、退室可能を指示するまでは、席を立たないでください。
- 13 この問題冊子及び計算用紙は、持ち帰ることができます。解答用紙は、持ち帰れません。

主催 一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会

監修 一般社団法人 全国農業経営コンサルタント協会

※“農業簿記検定[®]”は、一般社団法人 全国農業経営コンサルタント協会の登録商標です

問題 1 以下の文章のうち、誤っている文章が一つある。その文章の選択肢を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 農業簿記とは農企業（農業）に適用される簿記をいい、その特徴は生産活動の記録を行うことである。
2. 農企業では、製品の原価を計算することが重要な課題となり、この計算手続きを原価計算という。
3. 原価計算は、種々の目的を達成するために製品の原価を計算し、農業簿記は、その計算された結果を複式簿記の原理に基づいて帳簿に記入する。
4. 原価は、製造原価を意味する場合と、製造原価に支払利息や固定資産売却損などを加えた総原価を意味する場合がある。
5. 変動費は、生産規模の増減に応じて比例的に増減する原価要素をいう。

問題 2 以下の1～5は農業簿記において製造原価、販売費、一般管理費となる具体例を記述したものである。このうち、一つだけ誤っている組み合わせがある。その番号を答えなさい。

【選択肢】

	製造原価	販売費	一般管理費
1	トラクターの燃料代	直売所冷蔵庫の修理代	総務職員の通勤費
2	果樹の肥料代	直販農産物の梱包発送費	本社備品の減価償却費
3	乳用牛の飼料費	展示商談会の出展費用	役員の法定福利費
4	水田の農薬費	販売所の固定資産税	本社建物の電気代
5	直売所の従業員給料	収穫機械の固定資産税	営業員の接待交際費

問題 3

以下の〔仕訳〕と〔勘定〕の資料から、空欄（①）～（③）に入る金額として正しいものの組み合わせを示す番号を一つ選びなさい。

〔仕訳〕（単位：円）

(1) 肥料 135,000 円を掛で購入した。なお、引取運賃 15,000 円は月末に支払うことにした。

(借) (肥料費) (①) (貸) (買掛金) 135,000
(未払金) ()

(2) 肥料 102,000 円分を直接材料費として、11,000 円分を間接材料費として出庫した。

(借) (仕掛品) () (貸) (肥料費) ()
(製造間接費) ()

〔勘定〕（単位：円）

肥料費

(1) 買掛金	135,000	(2) 仕掛品	(②)
(1) 未払金	()	(2) 製造間接費	()

仕掛品

(2) 肥料費	()		
---------	-----	--	--

製造間接費

(2) 肥料費	(③)		
---------	-----	--	--

【選択肢】

	①	②	③
1	135,000	15,000	11,000
2	150,000	11,000	102,000
3	135,000	11,000	102,000
4	150,000	102,000	15,000
5	150,000	102,000	11,000

問題 4

以下の【仕訳】と【勘定】の資料から、空欄（①）～（④）に入る金額として正しいものの組み合わせを示す番号を一つ選びなさい。

【仕訳】（単位：円）

3/ 1 賃金手当の前月末未払額は610,000円であった。

（借）（未払費用） 610,000 （貸）（賃金手当） 610,000

3/22 賃金手当の当月支給総額は、3,100,000円であり、預り金250,000円を差し引いた金額を普通預金から支払った。

（借）（賃金手当） () （貸）（預り金） 250,000
 (普通預金) (①)

3/31 作業員の実際作業時間の内訳は次のとおりであった。

直接作業時間 3,000時間 間接作業時間 250時間 手待時間 150時間

なお、消費賃率は予定消費賃率を採用し、1時間当たり900円であった。

（借）（仕掛品） () （貸）（賃金手当） 3,060,000
 (製造間接費) (②)

3/31 賃金手当の当月末未払額は580,000円であった。また、賃金手当勘定における貸借差額を賃率差異勘定へ振り替えた。

（借）（賃金手当） 580,000 （貸）（未払費用） 580,000
 (賃率差異) (③) (賃金手当) (③)

【勘定】（単位：円）

賃金手当

3/22	預り金	250,000	3/ 1	未払費用	()
〃	普通預金	(①)	3/31	仕掛品	()
3/31	未払費用	(④)	〃	製造間接費	(②)
			〃	賃率差異	(③)
		()			()

【選択肢】

	①	②	③	④
1	2,850,000	360,000	10,000	580,000
2	3,100,000	135,000	10,000	610,000
3	2,850,000	360,000	135,000	580,000
4	2,850,000	360,000	10,000	610,000
5	2,850,000	135,000	360,000	580,000

問題 5 以下の資料に基づき、各経費の当月消費額の合計額として正しい選択肢を一つ選びなさい。

(単位：円)

費目	内訳		
外注加工費	前月末未払額 106,000	当月支払額 636,000	当月末未払額 109,000
減価償却費	年間見積額 780,000		
水道光熱費	当月測定額 70,000	当月支払額 69,000	
倉庫保管料	前月末前払額 43,000	当月支払額 180,000	当月末前払額 45,000

【選択肢】

1. 930,000 2. 950,000 3. 951,000 4. 952,000 5. 956,000

問題 6

以下の資料に基づき、実際部門費集計表の作成を行い、さらに当該仕訳を行った場合に空欄(①) ~ (④) に入る金額として正しい組み合わせの番号を一つ選びなさい。

〔資料〕

1. 実際部門費集計表 (単位:円)

	金額	水稲部門	野菜部門	果樹部門
部門個別費				
肥料費	344,000	185,000	107,000	52,000
農薬費	302,000	150,000	118,000	34,000
作業委託費	289,000	133,000	143,000	13,000
部門共通費				
減価償却費	686,000	(①)	()	()
共済掛金	223,000	()	()	(②)
動力光熱費	141,000	()	(③)	()
部門費合計	1,985,000	()	()	()

2. 部門共通費配賦基準に関する資料

	配賦基準	水稲部門	野菜部門	果樹部門
減価償却費	耕作面積	4,800 m ²	3,200 m ²	1,800 m ²
共済掛金	設備価額	2,592,000 円	1,008,000 円	860,000 円
動力光熱費	機械運転時間	128 時間	72 時間	35 時間

3. 仕訳 (単位:円)

(借) (水稲部門費) () (貸) (製造間接費) ()
 (野菜部門費) ()
 (果樹部門費) (④)

〔金額〕

ア 686,000 イ 336,000 ウ 43,200 エ 289,000
 オ 21,000 カ 43,000 キ 50,400 ク 685,600

【選択肢】

	①	②	③	④
1	イ	カ	オ	ク
2	イ	カ	ウ	エ
3	ア	キ	オ	エ
4	イ	キ	ウ	エ
5	イ	カ	ウ	ク

問題 7

以下の資料に基づき、損益計算書と製造原価報告書の空欄（①）～（②）に入る金額として正しい組み合わせの番号を一つ選びなさい。

種苗費		(単位：円)		肥料費		(単位：円)	
買掛金	1,200,000	仕掛品	1,200,000	前期繰越	50,000	仕掛品	90,000
	<u>1,200,000</u>		<u>1,200,000</u>	買掛金	120,000	次期繰越	80,000
					<u>170,000</u>		<u>170,000</u>

賃金手当		(単位：円)		製造間接費		(単位：円)	
現金	825,000	未払費用	82,500	賃金手当	322,700	仕掛品	758,000
未払費用	64,200	仕掛品	484,000	減価償却費	245,000	/	
		製造間接費	322,700	水道光熱費	182,400		
	<u>899,200</u>		<u>889,200</u>	製造間接費差異	7,900		
					<u>758,000</u>		

(単位：円)

製造原価報告書

I 直接材料費	()	()
II 直接労務費	()	()
III 製造間接費	()	()
実際発生額	()	()
製造間接費差異	()	()
当期総製造費用	<u>()</u>	()
期首仕掛品棚卸高		482,500
合計	()	<u>()</u>
期末仕掛品棚卸高		562,200
当期製品製造原価	()	<u>(①)</u>

(単位：円)

損益計算書

I 売上高		4,500,000
II 売上原価		
1. 期首製品棚卸高	362,000	
2. 当期製品製造原価	()	
合計	()	
3. 期末製品棚卸高	424,500	
差引	()	
4. 原価差異	()	()
売上総利益		()
III 販売費及び一般管理費		1,350,000
営業利益		(②)

【選択肢】

	①	②
1	2,444,400	752,300
2	2,444,400	768,100
3	2,452,300	752,300
4	2,452,300	760,200
5	2,452,300	768,100

問題 8

当社は畜産農業を営んでおり、標準原価計算を採用している。素畜費の価格差異および直接労務費の作業時間差異を算定し、その正しい組み合わせの番号を一つ選びなさい。なお、不利差異の場合には金額に「△」を付している。

1. 標準原価カード（1頭当たり）（単位：円）

	単 価	消 費 量	=	原 価 標 準
素 畜 費	12,000 円/頭	× 1 頭	=	()
直接労務費	500 円/時間	× 0.2 時間/日 × 180 日	=	()
製造間接費				6,000
				()

2. 当期生産データ（素畜は始点で投入する）

期首仕掛品	400 頭
当期投入	<u>900 頭</u>
計	1,300 頭
期末仕掛品	<u>500 頭</u>
完 成 品	<u><u>800 頭</u></u>

3. 1頭の畜産物の完成のためには、180日の飼育日数を要する。期首仕掛品としての家畜は、期首の段階で120日の飼育日数が経過している。また、期末仕掛品としての家畜は、当期末の段階で110日の飼育日数が経過している。

4. 当期の原価実績

直接材料費（素畜費）： 10,804,800 円（実際消費量：900 頭）

直接労務費： 15,085,360 円（実際直接作業時間：30,165 時間）

【選択肢】

	価格差異	作業時間差異
1	△4,800 円	△17,500 円
2	△4,800 円	△2,860 円
3	△4,800 円	17,500 円
4	4,800 円	2,860 円
5	4,800 円	17,500 円

問題 9

以下の資料に基づき、損益分岐点変動益と希望営業利益達成変動益の金額を算定しなさい。なお、希望営業利益は、450,000 円とする。【資料】以外の条件は不変として、問題の資料以外の事項は考慮しないこととする。

【資料】

農産物 1 個当たりの販売価格	@2,000 円
農産物 1 個当たりの変動費	@1,600 円
固定費	1,500,000 円

【選択肢】

	損益分岐点変動益	希望営業利益達成変動益
1	1,875,000 円	2,437,500 円
2	1,875,000 円	9,750,000 円
3	7,500,000 円	2,437,500 円
4	7,500,000 円	7,800,000 円
5	7,500,000 円	9,750,000 円

問題 10

次の取引につき、入金伝票、出金伝票、振替伝票を作成した場合において、それぞれの伝票に記載される金額の合計額として正しい組み合わせとなるものを一つ選びなさい。なお、3伝票制を採用しているケースを前提に考えること。

1. 野菜の肥料 24,000 円を購入し、代金は現金で支払った。
2. 野菜を 55,000 円で販売し、代金は現金で受け取った。
3. 野菜を 300,000 円で販売し、代金は掛けとした。
4. 従来から使っていたトラックを 300,000 円で売却し、代金は現金で受け取った。
5. 掛け販売していた野菜の代金 300,000 円が普通預金に振り込まれた。
6. ビニールハウスの資材 150,000 円を購入し、代金は現金で支払った。
7. トラクターの修理代として 75,000 円請求されたが、後日支払うこととした。
8. アルバイトの賃金 80,000 円を現金で支払った。
9. 銀行から 1,200,000 円を借り入れた。この借入金は普通預金に入金された。

【選択肢】

	入金伝票	出金伝票	振替伝票
1	355,000 円	104,000 円	2,025,000 円
2	655,000 円	104,000 円	1,575,000 円
3	1,555,000 円	254,000 円	675,000 円
4	655,000 円	329,000 円	1,800,000 円
5	355,000 円	254,000 円	1,875,000 円

問題 11

有形固定資産に関する次のア～オの記述には、正しい記述が一つある。その正しい記述を示す番号を一つ選びなさい。

- ア 定率法による減価償却費の額は、每期一定の金額が計上されることになる。
- イ 定率法による減価償却費の額は、徐々に減価償却費が逡増していくことになる。
- ウ 有形固定資産の建設を依頼し、手付金などを支払った場合には「建設仮勘定」の借方に記帳しておき、引き渡しを受けた時点で、有形固定資産の勘定に振り替える。
- エ 生物とは、農業用の減価償却資産である生物をいう。具体例としては果実、役肉牛、種豚などがあげられる。
- オ 搾乳牛の育成中に飼料費を支払った場合には、いったん育成仮勘定の借方に記帳する。

【選択肢】

1. ア 2. イ 3. ウ 4. エ 5. オ

問題 12

次の資料をもとに車両を買換えした場合の仕訳として正しい記述の番号を一つ選びなさい。
ただし減価償却の記帳方法は間接法による。

旧車両下取り価額	70,000 円	旧車両期首帳簿価額	20,000 円
旧車両取得価額	450,000 円	旧車両の期首から売却時までの減価償却費	5,000 円
新車両取得価額 800,000 円 ※新車両代金の残金は、後日に支払うこととした。			

【選択肢】

- | | | | |
|------------------|---------|---------------|---------|
| 1. (借) 減 価 償 却 費 | 5,000 | (貸) 固定資産売却益 | 70,000 |
| 固定資産売却原価 | 15,000 | 車 両 運 搬 具 | 20,000 |
| 車 両 運 搬 具 | 800,000 | 未 払 金 | 730,000 |
| 2. (借) 減 価 償 却 費 | 5,000 | (貸) 車 両 運 搬 具 | 15,000 |
| 車 両 運 搬 具 | 800,000 | 固定資産売却益 | 60,000 |
| | | 未 払 金 | 730,000 |
| 3. (借) 減 価 償 却 費 | 5,000 | (貸) 固定資産売却収入 | 70,000 |
| 固定資産売却原価 | 15,000 | 車 両 運 搬 具 | 20,000 |
| 車 両 運 搬 具 | 800,000 | 未 払 金 | 730,000 |
| 4. (借) 減 価 償 却 費 | 5,000 | (貸) 車 両 運 搬 具 | 450,000 |
| 減価償却累計額 | 430,000 | 固定資産売却益 | 55,000 |
| 車 両 運 搬 具 | 800,000 | 未 払 金 | 730,000 |
| 5. (借) 減 価 償 却 費 | 5,000 | (貸) 車 両 運 搬 具 | 800,000 |
| 減価償却累計額 | 430,000 | 固定資産売却益 | 55,000 |
| 車 両 運 搬 具 | 450,000 | 未 払 金 | 30,000 |

問題 13

次の所有権移転ファイナンス・リース取引に関する【資料】に基づいて、X8年3月31日における以下の【仕訳】の(①)～(③)にあてはまる数値を、下記の【数値群】から選んで完成させ、下記1～5のうちから、正しい組み合わせとなる番号を一つ選びなさい。なお、計算上生じる端数は円未満を四捨五入し、過不足は最終年度の利息で調整するものとする。(決算年1回、決算日3月31日)

【資料】

- (1) 解約不能のリース期間：5年
- (2) リース取引開始日：X6年4月1日
- (3) リース料：月額 50,000円(各年3月31日に1年分600,000円を現金で支払う)
総額 3,000,000円
- (4) 貸手の購入価額：2,550,000円(借手においても明らかである)
- (5) 貸手の計算利率：年5.674%(借手においても明らかである)
- (6) リース物件の経済的耐用年数：6年
- (7) 借手の減価償却方法：定額法(償却率：0.167、残存価額：ゼロ)

【仕訳】

(借) リース債務 (①) (貸) 現金 600,000
 支払利息 (②)
 (借) 減価償却費 (③) (貸) 減価償却累計額 (③)

【数値群】

ア 91,552 イ 118,853 ウ 144,687 エ 425,850
 オ 455,313 カ 481,147 キ 508,448 ク 600,000

【選択肢】

	①	②	③
1	ウ	オ	ク
2	イ	カ	ク
3	ア	キ	オ
4	オ	ウ	エ
5	カ	イ	エ

問題 14 次の【取引】のうち、「作付助成収入」勘定に計上される金額を計算し、下記の記述のうちから正しい番号を一つ選びなさい。

【取引】

- A 稲刈り作業を手伝い、1反あたり 30,000 円で 20 反分の代金を受領した。
- B 米の販売収入の合計が標準的収入額を下回ったため、その補てんとして収入減少影響緩和対策交付金 200,000 円が交付された。
- C 次世代を担う農業者となることを志向する者に対し、就農直後の経営確立を支援する資金（旧青年就農給付金）の補助金として、150 万円の交付を受けた。
- D 作物の生産の助成を目的とする水田活用の直接支払交付金 500,000 円が支給された。

【選択肢】

- 1. 200,000 円
- 2. 500,000 円
- 3. 600,000 円
- 4. 700,000 円
- 5. 2,200,000 円

問題 15 下記の仕訳のうち、誤りの記述の番号を一つ選びなさい。

- 1. 作付面積に応じて交付される交付金 2,000,000 円が普通預金口座に入金された。
(借) 普通預金 2,000,000 (貸) 作付助成収入 2,000,000
- 2. 農業経営基盤強化準備金として、2,000,000 円を繰り入れた。(剰余金処分方式)
(借) 農業経営基盤強化準備金繰入 2,000,000 (貸) 農業経営基盤強化準備金 2,000,000
- 3. 積み立ててあった農業経営基盤強化準備金 5,000,000 円全額を、コンバインを購入するために取り崩した。(剰余金処分方式)
(借) 農業経営基盤強化準備金 5,000,000 (貸) 繰越利益剰余金 5,000,000
- 4. コンバインを 6,000,000 円で購入し、代金は普通預金から支払った。
(借) 機械装置 6,000,000 (貸) 普通預金 6,000,000
- 5. 所有するコンバインにつき 5,000,000 円の圧縮記帳を行う。(直接減額方式)
(借) 固定資産圧縮損 5,000,000 (貸) 機械装置 5,000,000

問題 16

大原農事組合法人は、X3年12月25日の総会において、繰越利益剰余金を財源とした剰余金の配当等を次の通り決定し、利益準備金は定款で定める最低金額を積み立てることとした。

従事分量配当金	2,500,000円
農業経営基盤強化準備金	1,500,000円
利益準備金	?円

下記の〔資料〕に基づき、大原農事組合法人が利益準備金として積み立てるべき金額として正しい番号を一つ選びなさい。なお、大原農事組合法人は、定款において、出資総額の二分の一に相当する金額に達するまで、毎事業年度の剰余金の十分の一に相当する金額以上の金額を利益準備金として積み立てるものと定めている。

〔資料〕貸借対照表（一部）

大原農事組合法人	X3年10月31日（決算日）現在		（単位：円）
仮払配当金	1,000,000	出資金	3,000,000
		利益準備金	1,200,000
		繰越利益剰余金	4,800,000
		（うち当期純利益）	4,500,000

【選択肢】

1. 300,000円
2. 400,000円
3. 450,000円
4. 480,000円
5. 1,500,000円

問題 17

花山株式会社は、当期首に増資のため、株式 200 株を 1 株当たり 50,000 円で発行し、全額が普通預金に払い込まれた。資本金計上額は、会社法規定の最低金額とする。この場合の仕訳として、正しい番号を 1 つ選びなさい。

〔仕訳〕

- | | | | | |
|----|------------|------------|------------|------------|
| 1. | (借) (普通預金) | 10,000,000 | (貸) (資本金) | 10,000,000 |
| 2. | (借) (普通預金) | 10,000,000 | (貸) (資本金) | 5,000,000 |
| | | | (資本準備金) | 5,000,000 |
| 3. | (借) (資本金) | 10,000,000 | (貸) (普通預金) | 10,000,000 |
| 4. | (借) (資本金) | 5,000,000 | (貸) (普通預金) | 10,000,000 |
| | (資本準備金) | 5,000,000 | | |
| 5. | (借) (資本金) | 5,000,000 | (貸) (普通預金) | 5,000,000 |

問題 18～25

畜産業を営むX株式会社のX8年4月1日からX9年3月31日までの事業年度に関する、次の【資料1】及び【資料2】に基づいて、以下の設問に答えなさい。なお、原価計算制度は採用していない。

【資料1】決算整理前残高試算表

X株式会社	X9年3月31日	(単位:円)
251,358	現金	
18,963,851	普通預金	
10,588,000	売掛金	
	貸倒引当金	55,000
2,045,525	原材料	
20,653,654	仕掛品	
5,779,550	仮払消費税等	
12,143,250	建物	
15,542,500	機械装置	
3,793,450	生物	
	買掛金	4,530,654
	仮受消費税等	6,967,550
	長期借入金	35,654,000
	資本金	5,000,000
	繰越利益剰余金	27,351,210
	製品売上高	87,089,360
231,571	種苗費	
6,852,450	素畜費	
45,632,124	飼料費	
6,643,651	貸金手当	
1,565,850	修繕費	
2,452,124	動力光熱費	
6,000,000	役員報酬	
9,855,654	販売手数料	
655,480	図書研修費	
	受取利息	2,481
	雑収入	985,000
	国庫補助金収入	2,500,000
485,213	支払利息	
170,135,255		170,135,255

〔資料2〕 決算整理事項

- (1) 原材料の期首棚卸高は、2,045,525円であり、期末棚卸高は、1,941,520円であった。
- (2) 仕掛品の期首棚卸高は、20,653,654円であり、期末棚卸高は、21,653,535円であった。
- (3) 今期において、機械装置を取得するための国庫補助金2,500,000円を受領し、当該補助金を充当して、X8年10月1日に機械装置Aを5,000,000円で購入し、直ちに事業の用に供した（購入価格で機械装置勘定へ計上済）。当該機械装置Aについて、直接減額方式により、圧縮記帳を行う。なお、機械装置Aの耐用年数は7年であり、定率法（償却率0.286）により減価償却費を計上する（当社は記帳方法として直接法を採用している）。
- (4) 今期において新規に取得した機械装置は上記（3）の機械装置Aのみである。また、今期において除却または売却した機械装置はない。A以外の機械装置には、機械装置Bがあり、定率法（耐用年数7年、償却率0.286）により減価償却費を計上する。
- (5) 当期において繁殖牛を売却した代金985,000円は雑収入に計上してある。繁殖牛の売却は每期継続して行われているため、総額主義による会計処理方法へ修正を行う。なお、売却した繁殖牛に係る情報は以下の通りである。

期首時点における当該繁殖牛の帳簿価額	1,023,750円
当該繁殖牛の売却時までの当期減価償却費相当額（未計上）	236,250円

- (6) 当期に計上すべき減価償却費は、以下の通りである（すべて製造に関する費用である）。

固定資産	当期償却額
建物	904,500円
機械装置A	(ア)
機械装置B	(イ)
今期に売却した繁殖牛（上記（5））	236,250円
その他の繁殖牛	650,590円
合 計	(推定)

- (7) 期末における貸倒見積額84,000円を貸倒引当金として差額補充法により計上する。
- (8) 決算において、仮払消費税等及び仮受消費税等を清算し、差額の納付すべき消費税額を未払消費税等勘定に振り替える。
- (9) 決算において、法人税等の年税額が737,300円と確定した。

問題 18

上掲の〔資料2〕決算整理事項(6)の空欄(ア)と(イ)を計算し、下記の記述のうちから、正しい組み合わせとなる番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. (ア) 715,000 (イ) 3,015,155
2. (ア) 357,500 (イ) 3,015,155
3. (ア) 357,500 (イ) 4,445,155
4. (ア) 715,000 (イ) 4,445,155
5. (ア) 357,500 (イ) 2,222,577

製造原価報告書

X株式会社

自 X8 年 4 月 1 日 至 X9 年 3 月 31 日

(単位:円)

I 材料費

期首材料棚卸高 ()

種 苗 費 ()

素 畜 費 ()

飼 料 費 ()

計 ()

期末材料棚卸高 () (**ウ**)

II 労務費

賃 金 手 当 ()

III 経 費

修 繕 費 ()

動 力 光 熱 費 ()

() () ()

当期総製造費用 ()

期首仕掛品棚卸高 ()

計 ()

期末仕掛品棚卸高 ()

当期製品製造原価 (**エ**)

問題 19

上掲の製造原価報告書の空欄 (**ウ**) と (**エ**) を計算し、下記の記述のうちから、正しい組み合わせとなる番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. (**ウ**) 52,820,150 (**エ**) 67,645,889

2. (**ウ**) 52,820,150 (**エ**) 65,963,254

3. (**ウ**) 52,820,150 (**エ**) 68,596,231

4. (**ウ**) 52,480,630 (**エ**) 69,231,450

5. (**ウ**) 52,716,145 (**エ**) 67,645,889

損 益 計 算 書

X株式会社

自 X8 年 4 月 1 日 至 X9 年 3 月 31 日

(単位：円)

I	売 上 高		
	1. 製 品 売 上 高	()	
	2. 生 物 売 却 収 入	(才)	()
II	売 上 原 価		
	1. 当 期 製 品 製 造 原 価	()	
	2. (力)	(キ)	()
	売 上 総 利 益		()
III	販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		
	1. 役 員 報 酬	()	
	2. 販 売 手 数 料	()	
	2. 図 書 研 修 費	()	
	3. (ク)	(ケ)	()
	営 業 利 益		()
IV	営 業 外 収 益		
	1. 受 取 利 息		()
V	営 業 外 費 用		
	1. 支 払 利 息		()
	経 常 利 益		()
VI	特 別 利 益		
	1. 国 庫 補 助 金 収 入		()
VII	特 別 損 失		
	1. (コ)		(サ)
	税 引 前 当 期 純 利 益		()
	法 人 税 等		()
	当 期 純 利 益		()

問題 20 上掲の損益計算書の空欄（オ）と（キ）を計算し、下記の記述のうちから、正しい組み合わせとなる番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

- | | | |
|------------------|------------|-------------|
| 1. (オ) 1,023,750 | (カ) 生物製造原価 | (キ) 985,000 |
| 2. (オ) 985,000 | (カ) 生物売却原価 | (キ) 787,500 |
| 3. (オ) 985,000 | (カ) 生物製造原価 | (キ) 787,500 |
| 4. (オ) 1,023,750 | (カ) 生物売却原価 | (キ) 985,000 |
| 5. (オ) 985,000 | (カ) 生物売却原価 | (キ) 236,250 |

問題 21 上掲の損益計算書の空欄（ケ）を計算し、下記の記述のうちから、正しい組合せとなる番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

- | | |
|-----------------|------------|
| 1. (ク) 貸倒引当金繰入額 | (ケ) 84,000 |
| 2. (ク) 貸倒引当金戻入額 | (ケ) 55,000 |
| 3. (ク) 貸倒引当金繰入額 | (ケ) 29,000 |
| 4. (ク) 貸倒引当金 | (ケ) 84,000 |
| 5. (ク) 貸倒引当金繰入額 | (ケ) 35,000 |

問題 22 上掲の損益計算書の空欄（サ）を計算し、下記の記述のうちから、正しい組み合わせとなる番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. (コ) 固定資産除却損 | (サ) 2,500,000 |
| 2. (コ) 固定資産圧縮損 | (サ) 5,000,000 |
| 3. (コ) 固定資産圧縮損 | (サ) 2,500,000 |
| 4. (コ) 固定資産圧縮損 | (サ) 1,500,000 |
| 5. (コ) 固定資産売却損 | (サ) 2,500,000 |

問題 23 次掲の貸借対照表の空欄（シ）と（ス）を計算し、下記の記述のうちから、正しい組み合わせとなる番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. (シ) 12,169,845 (ス) 2,906,610
2. (シ) 9,685,125 (ス) 2,119,110
3. (シ) 9,678,451 (ス) 2,906,110
4. (シ) 9,669,845 (ス) 2,119,110
5. (シ) 9,669,845 (ス) 2,906,610

問題 24 次掲の貸借対照表の空欄（セ）と（ソ）を計算し、下記の記述のうちから、正しい組み合わせとなる番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. (セ) 6,967,550 (ソ) 5,779,500
2. (セ) 737,300 (ソ) 1,188,000
3. (セ) 737,700 (ソ) 450,300
4. (セ) 737,700 (ソ) 1,500,000
5. (セ) 1,188,000 (ソ) 737,700

問題 25 次掲の貸借対照表の空欄（タ）を計算し、下記の記述のうちから、正しい金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 28,450,315
2. 29,232,015
3. 29,312,452
4. 29,456,368
5. 29,650,450

貸借対照表

X株式会社

X9年3月31日

(単位：円)

資産の部			負債の部		
I 流動資産			I 流動負債		
現金預金	()	買掛金	()
売掛金	()	未払法人税等	(セ)
貸倒引当金	△ ()	未払消費税等	(ソ)
原材料	()	流動負債合計	()
仕掛品	()	II 固定負債		
流動資産合計	()	長期借入金	()
II 固定資産			固定負債合計	()
1. 有形固定資産			負債合計	()
建物	()	純資産の部		
機械装置	(シ)	I 株主資本		
生物	(ス)	資本金	()
有形固定資産合計	()	利益剰余金		
固定資産合計	()	その他利益剰余金		
/			繰越利益剰余金	(タ)
資産合計	()	利益剰余金合計	()
			純資産合計	()
			負債・純資産合計	()